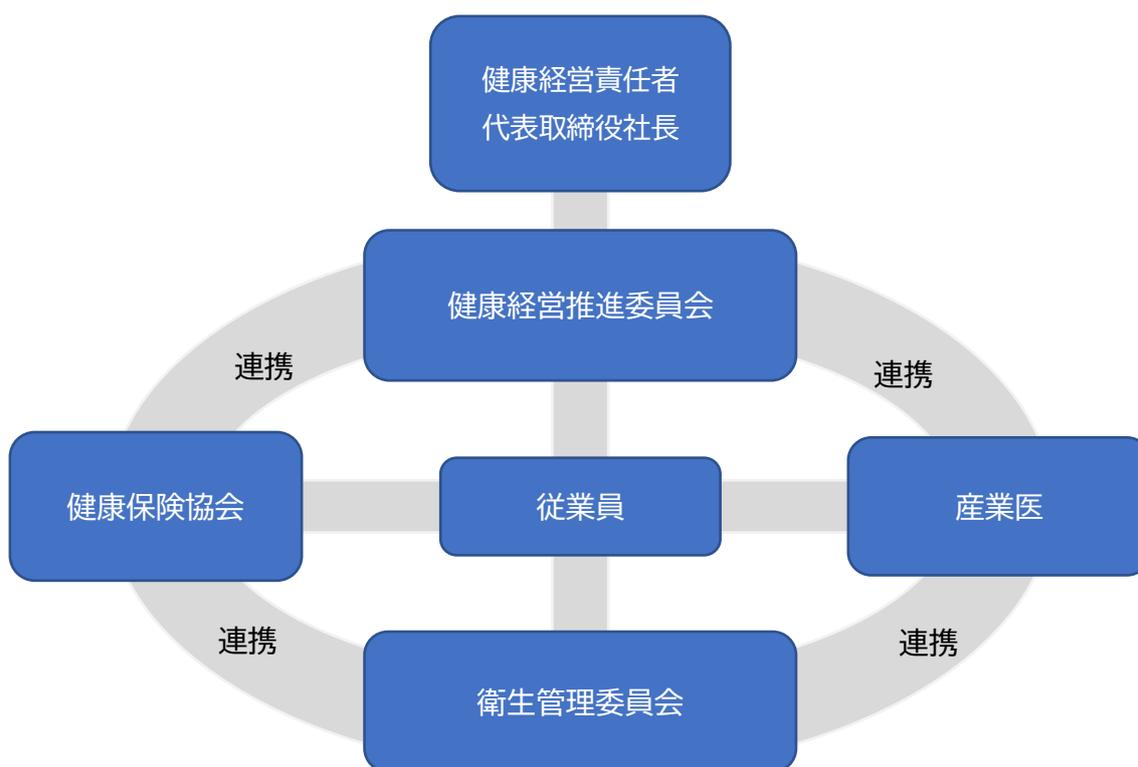


(カイテクノロジー健康経営宣言)

株式会社カイテクノロジーは、従業員が心身ともに健康であることこそが、健全な企業経営を推進するための源泉と考えております。

従業員の健康管理を経営課題として捉え「健康経営推進委員会」を設置し、戦略的に「健康経営」を推進して参ります。

2023年12月1日



システムエンジニアが多く在籍する当社において、VDT作業による目の疲れや血行不良等の解消は重要な課題と認識しております。

また、当社は自社開発の栄養・給食管理ソフト「Mr.献ダテマン」を販売しており、同ソフト関わる社員の多くが管理栄養士です。

この特長を活かし、従業員への献立提案等を通じて食生活への意識向上を促すとともに、自社開発ソフトに対する理解促進も同時に図っているところです。

【主な取り組み内容】

- ・眼・肩・腰を中心としたストレッチ励行（毎日・定時に）
- ・ヘルシーごはん研究会※との協働による管理栄養士監修の食事・レシピの提供
- ・定期健康診断の受診徹底とストレスチェックの受検率向上

- ・ウォーキングラリーの実施
- ・健康測定機器の設置
- ・自動販売機のカロリー表示と売れ筋情報の共有

※ヘルシーごはん研究会とは、カイテクノロジーの社内活動です。

炭水化物や糖質が過多になりがちなオフィスランチに「プラス α 」するスープや味噌汁を社員で作っています。

社内にいる管理栄養士と協力しながら会を運営しています。

*****以下社内参考資料*****

参考：厚生労働省が実施した「技術革新と労働に関する実態調査

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/saigai/enzen/08/02.html>

VDT 作業（情報端末を使用する作業）を行っている労働者のうち、「精神的疲労を感じている」割合が 34.6%、「身体的疲労を感じている」割合が 68.6%となっています。

身体的疲労の中でも、「目の疲れ・痛み」が 90.8%と最も多く、次いで「首・肩のこり・痛み」が 74.8%。「腰の疲れ・痛み」が 26.9%となっており、日々の情報機器を使った作業の影響で心身の不調が発生し業務効率の低下につながる事が読み取れます。